

鍼灸治療室

1. スタッフ構成

- 玉木 みずね(副院長、働き方改革推進本部長、総合診療科主任部長、鍼灸治療室長)
- 山見 宝、大塚 素子
＜研修生＞
- 阿部 里枝子、植嶋 萌恵、平林 里織
＜事務補助員＞
- 岩崎 小百合、池内 麗奈

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
厚生労働省はり師	山見宝、大塚素子、阿部里枝子、植嶋萌恵、平林里織
厚生労働省きゅう師	山見宝、大塚素子、阿部里枝子、植嶋萌恵、平林里織

3. 運営方針

鍼灸治療室では、(1)全人的病人理解の具現化(時系列分析ケアシステム)、(2)セルフケア・ファミリーケア(セルフメディケーション)の実行、(3)チーム医療、(4)東洋医学と西洋医学の融合等の特徴があります。また、診療・臨床研究・教育研修を3本柱として活動を行っています。

診療の対象となる患者さんの多くは、「長年にわたる健康上の苦痛や不安を持ち、身近な医療でなかなか解消されない方」という特徴があります。そのような方に、時系列分析を中心としたチーム医療により医療ケアを提供しています。診療に際しては、医療連携をしっかりと行うためにかかりつけ医を持つことをお願いしています。かかりつけ医を通じて、漢方内科を受診し、西洋医学的評価と東洋医学的治療の適応を判断します。適応のある方には、その後、治療相談カードをご記入いただき、時系列分析を行うとともに、東洋医学的に弁証して治療計画を立案します。治療方法は、灸術を中心にを行っています。治療期間は、6回(1クール)で治療計画が達成できるように取り組んでいます。また、公的医療機関に併設されており、へき地および特殊部門としての医療の提供を行っています。

研究については、診療技術の向上ならびに治療文化の維持推進のために、臨床研究を中心に活動しています。二千年以上前の古典文献や江戸時代の治療文化遺産を現代に役立てる方法論を確立しています。

教育については、①公的機関および専門機関としての情報提供、②東洋医学と西洋医学の双方の利点を活かした情報提供等、漢方内科・鍼灸治療室・中央病院の特性を活かした医療環境を県民の方々に提供し、県民の医療・福祉・健康に寄与できるよう定期的に公開講座を開催しています。また、鍼灸学校卒業後(国家資格所有者)の研修として、2年間の研修を行っている施設でもあります。

4. 実績

■ 患者数

	新患	再診		
		1術	2術	施灸指導
1月	5	9	132	9
2月	7	11	129	9
3月	5	9	147	21
4月	9	8	128	11
5月	8	9	141	10
6月	5	9	154	14
7月	6	12	122	16
8月	8	10	138	12
9月	5	12	125	18
10月	4	9	133	16
11月	3	12	139	11
12月	3	8	130	9
小計	68	118	1,618	156
合計	1,960			

■ 病院内活動

- あかちゃんにやさしい病院研修(7月26日)
「東洋医学と母乳育児について」
- マザークラス(毎月1回)
「東洋医学と母乳育児について」
- 施設見学、視察への対応
鍼灸師養成学校、愛媛県立松山盲学校
松山大学薬学部病院実習、関西医療大学 JICA 研修生

5. 2024 年度目標

- 医療安全に努め、より安全で質の高い医療を実践します。
- 他の機関では対応しにくい、複合的慢性健康障害に対応できるよう、診療能力・治療技術の向上を図ります。
- 鍼灸師の卒前・卒後研修を積極的に受け入れます。
- チーム医療に貢献できる能力の向上を図ります。
- BFH 関連事業への連携を進めます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 山見宝、大塚素子、山岡傳一郎. 臨床で使える 穴位主治条文の検討. 第72回(公社)全日本鍼灸学会学術大会神戸大会. 神戸 (2023.6.9-11)
- 山見宝. えひめで育むお灸～時系列・ツボ療法・お灸そして主治症～. 第72回(公社)全日本鍼灸学会学術大会神戸大会. 神戸 (2023.6.9-11)
- 大塚素子、山見宝、山岡傳一郎. 腰腹部への治療制限がある患者の腰痛～復溜の施灸が有効だった一症例～. 第72回(公社)全日本鍼灸学会

学術大会神戸大会. 神戸 (2023.6.9-11)

4. 阿部里枝子、山岡傳一郎. 東洋医学とお天気. 第 41 回市民公開講座. 松山 (2023.7.10)
5. 西恭平、川寄美智子. 東洋医学と老いの折り合い. 第 42 回市民公開講座. 松山 (2023.9.4)
6. 大塚素子、松本裕子(三宅会グッドライフ病院). 東洋医学と排尿障害～お灸のすすめ～. 第 43 回市民公開講座. 松山 (2023.11.6)

(2) 論文・著書

1. 山見宝. 特集瘀血の診かたと治療 症例報告「瘀血」について. **Tehamo** てはも 8 号. 森ノ宮医療学園出版部編集室編 森ノ宮医療学園出版部. 亜東書店. 87-92 (2023.10.31)